

令和4年度 千葉県立市川昂高等学校の取り組みについて

本校は「生命・感謝・審美」を教育理念としている。「生命」とは、命あるものを尊重し、思いやりのある豊かな心と健やかな体を育成し、安全で健康な生活を主体的に想像する資質を養うことである。「感謝」とは、自己の人生を支えてくれる全てのことに感謝する心と、自然や社会と共生する態度を養うことである。また「審美」とは、審美眼を養い、広い世界を生きる、次代を担う資質を育てることである。

本校ではE S Dの活動を通じて、この教育理念の実現、特に命あるものを尊重し、自然や社会と共生しながら、次代の世界を担う資質を育成することを目標としている。

本校の活動として、今年度は主に以下の活動に取り組んだ。

(1) 第1学年における異文化交流会

令和4年度は、第1学年の生徒全員が参加する異文化交流会を実施した。日本に留学している外国人留学生と自己紹介や趣味、興味のあること等についての意見交換や身振り・手振りをを用いたゲームを通じて、生まれた国の異なる人々と積極的に関わろうとする態度を養うことができた。

(2) 第3学年中国語・韓国語選択生徒の外国人留学生との語学交流会

第3学年の韓国語・中国語を履修する生徒については、それぞれのクラスで語学交流会を実施した。特に留学生との韓国語・中国語交流会においては、年齢の近い留学生と韓国語や中国語、また留学生の話す日本語により互いの文化について意見交換をする機会が設けられた。また、韓国語の交流会においては、韓国の伝統衣装であるチマチョゴリの着用や韓国で楽しまれている簡単なゲームの実施など、幅広い交流活動を通じて次代の世界を担う資質の育成に注力した。

今後も留学生との交流会や、これまで実施していた近隣小学校での学習支援ボランティアなど、引き続きユネスコスクールとしての活動を充実させていきたい。特に、令和2年度より参加している体験発表会や感染防止策を徹底したうえでの語学交流会など、コロナ禍以前の環境を取り戻しつつある現在の状況下で、取り組むことができる活動を模索し実施方法を検討することで、引き続きユネスコスクールとして行事を実施できる機会を設け、その活動を活性化させていきたい。